

初任給は22万円超す

——ヒューマンスターチャイルド——

ベア1万円で待遇改善へ

保育事業を展開するヒューマンスターチャイルド(株)(横浜市神奈川区、川下裕左代表取締役社長、正社員170人)は、月額9900円ベースアップ、ICTシステム導入による生産性向上によって保育士の待遇改善を進め、長く働ける職場へ改革を進めている。将来的な人事制度の見直しも

計画中だ。

ベア実施は今年4月からで、既存の処遇改善手当は2万円と合計すると初任給は22万440円となり、業界内でも高水準の金額に達している。対象者は施設長を除く正社員と、契約社員として働く保育士の計136人。業界全体として人材確保が課題となっており、処遇

改善を進めることで保育士を確保することを狙っている。

生産性向上による働き方改革も推進しており、6月に運営する全ての保育所へタブレット端末を計140台導入した。空き時間を有効に活用した連絡帳や保育日誌の閲覧・記入、園内で撮影した写真をクラウド上に自動

アップロードすることによる販売する手間の省略など効果が見込まれる。出勤管理も自動化されるため、サービス残業防止にも役立つ。

同社広報担当者は、月間平均5・5時間の残業時間をさらに短くできることに加え、「一層保育業務に専念できるようになる」と効果を指摘する。

同社のグループ会社でもさまざまな働き方改革が進む。ヒューマンホールディングス(株)やヒューマンアカデミー(株)では今年4月から、年次有給休暇

や子の看護休暇を半日単位で取得できるようにした。管理職以上の賃金体系は、職能資格制度から役割等級制度へと変更している。